

# 適切な避難行動を確認しよう

洪水(河川の氾濫)によって市街地や建物、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます(道路や農地が水で覆われることを冠水ということもあります)。一般の建物では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水する恐れがあり、3m以上では2階も浸水するおそれがあるため、2階への避難ができません。洪水の正しい避難行動は、「**浸水が始まる前に避難する**」ことですが、万が一の事態に備え、ハザードマップで自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するかなどを確認し、下のフローチャートからいざというときの避難行動について確認しておきましょう。

